

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腎疾患に対する PCSK9 による影響の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

当科で行なっている「昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門における腎臓病レジストリー研究」の対象となる患者もしくは当院腎移植患者で腎生検を施行した患者を対象とします。

研究対象期間は昭和大学病院臨床試験審査委員会承認後、病院長による研究実施の許可を得てから2024年3月31日までを研究対象といたします。。

2. 研究目的・方法

糸球体腎炎は尿中への蛋白質漏出と血清蛋白質濃度の低下を生じるネフローゼ症候群を発症することがある。ネフローゼ症候群は高率に脂質異常症を合併することが知られています。ネフローゼ症候群における高LDLコレステロール血症(LDL-C)の原因として血中proprotein convertase subtilisin/kexin type 9 (PCSK9)濃度の上昇が関与すると報告されています (Jin K, et al. Am J Kid Dis. 2014)。また動物実験ではPCSK9がマクロファージや血小板に存在する膜蛋白である酸化コレステロールのスカベンジャー受容体であるCD36の活性を高めることが報告されており (Zhiyong Qi, et al. Circulation. 2021)、このPCSK9を中心とするカスケードが糸球体腎炎においても関係する可能性が考えられます。本研究では医学部内科学講座腎臓内科学部門で腎生検を行った患者の腎組織・血液・尿検体および患者情報を用いて腎疾患とPCSK9との関連を後方視的に解析します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、実施医療機関の長の研究実施許可を得てから、2024年 3月 31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

ヒト試料として腎組織・血液および尿検体を用いる。これらの試料は当科で行なっている「昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門における腎臓病レジストリー研究」により同意を得たもので、既に当科で保管しているものを用います。

患者さんの情報として診療録より主に腎生検施行時の年齢・性別・体重・血圧・使用薬剤・既往歴・アレルギー歴・嗜好歴・転機・血清 Cr 値・血清 BUN 値・血清 Hb 値・血清 CRP 値・血清 HbA1c 値、血糖値・血清アルブミン値・血清総蛋白値・血清 LDL コレステロール値・血清 HLD コレステロール値・血清トリグリセリド値・血清総コレステロール値・免疫血清学検査各種・尿定性および沈渣・尿中蛋白量・尿 Cr 値・尿 NAG 指数・尿 α 1 ミクログロブリン値・尿 β 2 ミクログロブリン値を得ます。これらの情報は腎生検時以外のものでも参照・引用する場合がございます。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院腎臓内科

氏名：鈴木 泰平

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 6 号館 4 階腎臓内科医局

電話番号：03-3784-8533

研究責任者：鈴木 泰平